

# 花緑センターだより

(公財) 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

令和4年7月 61号

## 自然と建築の融合

### 第1回 「ひょうごまちなみガーデンショー」を振り返って

武庫川女子大学 建築学部 景観建築学科 教授 上町 あずさ

今年は「ひょうごまちなみガーデンショー」30回記念ということで、1993年～1996年に「ひょうごまちなみガーデンショー」の企画・運営に携わった者として非常に感慨深いものがあります。当時はこれほど長く続くイベントになるとは想像もしていませんでした。

1992年に兵庫県庁周辺で5月に開催された「花と緑のまちづくり国際シンポジウム& '92ひょうごまちなみガーデンショウ」が第1回目で、翌年以降、「ひょうごまちなみガーデンショー」として引き継がれました。第2回目までの花と緑の演出は、県庁周辺の会場に見本花壇やコンテナガーデンを運営側で設置し、県民の方々に花と緑の空間を体験して頂く、というものでした。

大きく方向転換し、ガーデンショーの長期継続の要因になったと考えられるのが第3回目から始まった「ガーデンコンペ・ひょうご」です。大阪の百貨店で毎年開催されていた「フラワーフェスティバル」を始め、当時の園芸の展示会は通常、屋内展示でしたので、実際の庭を想定した屋外での展示は画期的な試みだったと言えます。兵庫県内外の造園・園芸関係の企業やガーデンクラブ等の住民団体などから計31団体の出展がありました。ガーデンコンペの開催により会場内の花と緑の量が格段に増し、「ガーデンショー」という名前にふさわしい催しになりました。翌1995年は阪神・淡路大震災によりやむなく中止となりましたが、1996年からはガーデンコンペに「コンテナ・ハンギング部門」を加え、個人の方々にも出展して頂けるようになりました。

その後、会場や開催時期を変えながらも毎年開催され、昨年度のガーデンコンペではコロナ禍の中、ガーデン部門計237点の出展があったとのこと、私が携わっていた初期の頃とは比較にならないほど大規模なイベントに発展しました。兵庫県民の花と緑に対する意識の高さ、県民の方々が様々な形で参加



県庁1号館中庭で開催された 第1回「ガーデンコンペ・ひょうご」

できる仕組み、主催者の方々の部局を超えた連携が継続の鍵だったのではないかと思います。

「ひょうごまちなみガーデンショー」の名称には私たち一人ひとりが身近な花や緑を増やすことにより、兵庫県下のまちなみや地域の景観がより良くなるように、という思いが込められています。また、明治・大正時代の建築物である兵庫県公館と神戸栄光協会（震災により倒壊）を含む県庁周辺のまちなみと花や緑を融合させた快適な空間を提案し、来場者の方々に体感して頂くことが当初の目的でしたので、「まちなみ」の語が入っているのです。

建築と花や緑の融合は美しいまちなみ景観の形成に欠かせない要素といえます。「ひょうごまちなみガーデンショー」の盛況にも表れているように、県民の方々の花と緑に対する理解は深まりました。一方、建築設計と景観設計を両方できる人材は少なく、ハード面の課題が残っています。折しも、2020年に建築と景観の一体的な設計が学べる景観建築学科が武庫川女子大学に開設されました。この日本初の学科が兵庫県内にできたのも偶然ではない気がしています。時を経て30回目の「ひょうごまちなみガーデンショー」では教員として学生達とガーデンコンペ出展を目指しています。

# 2022 ガーデンコンペ・ひょうご 作品募集のご案内



来たる9月18日(日)から25日(日)まで、花と緑あふれるまちづくりや暮らしづくりを一層推進し、躍動する兵庫づくりの一翼を担うため、県民主体のイベントとして「2022 ひょうごまちなみガーデンショー in 明石」を、県立明石公園ほかにて開催します。会場内にはガーデンコンペの作品を展示します。

今年も皆様のご応募を、お待ちしております。詳細につきましては、ガーデンショーのホームページをご覧ください。出展申込書もダウンロードできます。

※B部門は受付終了しました。

まちなみガーデンショー 検索 🔍



## A 部門 写真

(1)コミュニティ・職場 (2)家庭 (3)学園

<2021年最優秀作品>

申込期間 受付中～8月6日(土)  
展示場所 県立明石公園 パークギャラリー  
(明石公園サービスセンター内)

対象  
(1)自治体や商店街などの地域団体や事業所にある花壇・植栽  
(2)家庭の花壇・植栽  
(3)教育機関と保育所、こども園のなかにある花壇・植栽

写真サイズ  
キャビネ版=2Lサイズ(縦127mm×横178mm) 4枚  
※2021年秋以降に撮影された異なる4種類の写真を  
ご用意ください

申込方法  
出展申込書に必要事項を記入の上、写真4枚とともに  
申込先まで郵送、またはメールにて



## C 部門 スモールガーデン

花や樹木等を用いて「まちなみの装飾技術」を競うガーデン

<2021年最優秀作品>

申込期間 6月27日(月)～8月6日(土)  
展示場所 県立明石公園 正面入口付近  
対象 花緑団体、学校や会社の園芸クラブ、自治会、老人会などグループで活動している団体  
※先着12団体  
申込方法 出展申込書に必要事項を記入の上、FAX またはメールでお申し込み下さい



## D 部門

(1)寄せ植え (2)ミニ寄せ植え (3)ハンギングバスケット

申込期間 6月27日(月)～8月6日(土)  
対象 個人  
展示場所 県立明石公園 西芝生広場  
申込方法 出展申込書に必要事項を記入の上、郵送またはFAXで、お申し込みください。

<2021年最優秀作品>



寄せ植え



ハンギングバスケット



ミニ寄せ植え

## ＊ 推進員交流ブース

ガーデンショー会場で、各地域の推進員どうして意見や情報交換してみませんか?

また、昨年は寄せ植えや苔テラリウム、キッチンスワッグ作りなどのワークショップを行いました。今年も下記日程で企画しています。

- .....担当地域.....
- 18日(日) 東播磨地域
- 19日(祝) 但馬地域
- 20日(火) 神戸地域、中・西播磨地域、淡路地域
- 21日(水) 阪神南地域
- 22日(木) 丹波地域
- 23日(祝) 阪神北地域
- 24日(金) 北播磨地域
- 午前10時～16時まで



## 花緑いっぱい運動推進員募集

地域で花と緑のまちづくりに取り組む皆様をボランティアで支援する「花緑いっぱい運動推進員」を募集しています。令和4年5月31日現在、189名の方が花緑いっぱい運動推進員として活動されています。花と緑のまちづくりに関心のある方の積極的な参加をお待ちしています。詳しくは、下記のお問い合わせ先へご連絡ください。



- 活動内容
  - ・地域の緑化活動に取り組もうとするグループの育成
  - ・地域の緑化活動への技術的なアドバイス
  - ・緑化活動グループの交流促進 など
  - ※半年に一度、活動報告書を提出していただきます。

- 活動に対する支援
  - ・月1,000円の活動助成金
  - ・兵庫県ボランティア災害共済制度への加入
  - ・研修会やワークショップの案内

<お申込み・お問合せ先>  
(公財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター  
〒673-0847 明石市明石公園1-27  
TEL.078-918-2405 FAX.078-919-5186



花緑いっぱい運動 検索 🔍

### 事業概要

兵庫県では、都市環境の改善や防災性の向上等を図るため、県民緑税を活用し、住民団体等が実施する植樹や芝生化などの緑化活動に対して支援を行う「県民まちなみ緑化事業」を平成18年度から実施しています。

第4期事業（令和3年度～7年度）では、従来からの住民団体等への支援に加え、県民が緑の効果を実感できる駅周辺や校庭など、公的空間でのシンボル性の高い緑化に取り組むこととし、令和4年度は下記のとおり募集を行います。

緑化区分	補助内容
一般緑化	公園、広場、マンション、道路・河川沿い、学校、土石採取跡地等への植樹や生垣の設置等を行う住民団体等に対し、緑地整備に要する費用を補助します。
校庭の芝生化	学校の校庭や幼稚園・保育園の園庭の芝生化に要する費用を補助します。
ひろばの芝生化	公園、広場、グラウンド等の芝生化に要する費用を補助します。
駐車場の芝生化	駐車場の芝生化を行う所有者や管理者等に対し、芝生化に要する費用を補助します。
建築物の屋上緑化・壁面緑化	建築物の屋上又は壁面の緑化を行う所有者や管理者等に対し、緑化に要する費用を補助します。
大規模都心緑化	人口集中地区内の駅周辺の公共性が高い都心空間を豊かにする緑化を行う協議会に対して、緑化に要する費用を補助します。

### 対象者

- 自治会、婦人会、老人会などの住民団体
- まとまった面積の緑化を行う土地所有者（個人・法人など）
- 法人、個人、住民団体及び市町等により構成する協議会（都心緑化のみ）

### 対象地域

#### 住民団体が公共用地で実施する場合

（一般緑化、ひろばの芝生化、駐車場の芝生化）

- 都市計画法に規定する都市計画区域
- 緑豊かな地域環境の形成に関する条例（以下「緑条例」という。）の「さとの区域」、「まちなみ区域」など

#### 個人・法人等が実施する場合

- 都市計画法に規定する市街化区域
- 用途地域が定められた区域
- 市街化調整区域のうち、特別指定区域及び開発指定区域
- 緑条例の「まちなみ区域」など

\*ただし、校庭の芝生化は県下全域、大規模都心緑化は人口集中地区内の駅周辺が対象です。

### 一般緑化の一例



道路植栽帯

企業の道路沿いの花壇（全長約200m）にクリーピングタイムとヒメイワダレソウを植栽し道路の景観美化に貢献している。

### 校庭の芝生化の一例



園庭

雑草で覆われていた小学校の中庭を芝生化し、学びの場と憩いの場ができました。

### ひろばの芝生化の一例



自治会広場

土の広場を芝生化したことにより多目的用途が期待されます。子ども達も裸足で駆け回ることが出来るようになりました。

### 屋上緑化の一例



施設屋上

屋上をヘデラで緑化した事により景観も良くなり、夏場の温度上昇を抑えることが出来ました。

### 問い合わせ先

#### 一般緑化、校庭・ひろばの芝生化

実施箇所	お問い合わせ先	郵便番号	所在地	電話番号
神戸市	まちづくり部都市政策課 緑化政策班	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078 (362) 3564
尼崎市、西宮市、芦屋市 伊丹市、宝塚市、川西市 三田市、猪名川町	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	665-8567	宝塚市旭町2-4-15	0797 (83) 3191
明石市、加古川市、高砂市 稲美町、播磨町	加古川土木事務所 まちづくり建築課	675-8566	加古川市加古川町寺家町 天神木97-1	079 (421) 9402
西脇市、三木市、小野市 加西市、加東市、多可町	加東土木事務所 まちづくり建築課	673-1431	加東市社字西柿1075-2	0795 (42) 9409
姫路市、相生市、たつの市 赤穂市、宍粟市、神河町 市川町、福崎町、太子町 上郡町、佐用町	姫路土木事務所 まちづくり建築第1課	670-0947	姫路市北条1-98	079 (281) 9313
豊岡市、養父市、朝来市 香美町、新温泉町	豊岡土木事務所 まちづくり建築第2課	668-0025	豊岡市幸町7-11	0796 (26) 3757
丹波篠山市、丹波市	丹波土木事務所 まちづくり建築課	669-3309	丹波市柏原町柏原688	0795 (73) 3863
洲本市、南あわじ市 淡路市	洲本土木事務所 まちづくり建築課	656-0021	洲本市塩屋2-4-5	0799 (26) 3247

#### 駐車場の芝生化、建築物の屋上緑化・壁面緑化、大規模都心緑化

実施箇所	お問い合わせ先	郵便番号	所在地	電話番号
全市町	部まちづくり局 都市政策課緑化政策班	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078 (362) 3563

### 募集期間

4月1日（金曜日）から11月30日（水曜日）

令和4年度はまちなかでの緑化を優先して支援します。  
令和4年度の「駐車場の芝生化」は、神戸市以外からの新規受付を停止します。  
※申請の受付を再開する場合は、ホームページで改めて周知します。



# 相談員ニュース

## 住民主体の緑のまちづくり

緑の相談所長 松永 龍児

4回連載で住民主体の緑のまちづくりについて紹介していきたい。それぞれの地域にあったまちづくりを住民主体で行っていくにはどのようにしていくのがよいか、4大学他でまちづくりを教えていた経験を踏まえ一緒に考えていきたい。

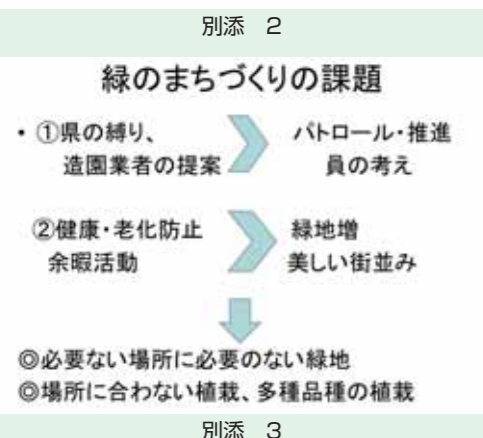
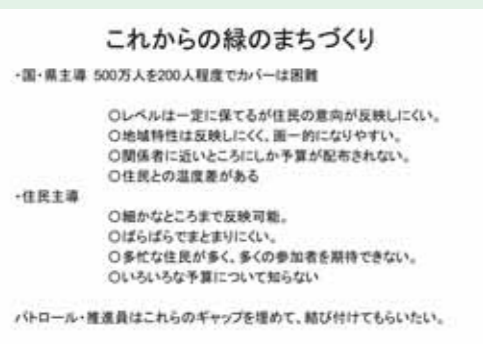
(スマホで「松永龍児」と打ち込めば事例参照可能)

### ◆ 緑の資源マネジメントモデル



従来は別添1のように国・県・行政が主体となり、モデル的緑地や花壇を作って紹介し、それをモデルに地域ボランティアを中心に作成していく手法が多く、植物園や緑の相談所も地域一体となるところまでにはなっていなかった。兵庫県は、パトロール、推進員という他県にない体制が整い、緑の先進県であるが、北海道のように住民が発案・主体となって進めていくということが少ないように思える。そこで大学で検討していたモデルを参考に緑のまちづくりマネジメントモデルを考えてみた。今後は住民が主体となり、その地域にあった緑のまちづくりを進めていってもらおう一助になればと考えている。

### ◆ これからの緑のまちづくり



#### ○街歩きとお宝マップ

老若男女が参加し、5-6人のグループで街を歩いてお宝カードを1グループ30程度作ってファイルに保存。ルートをマップ上に記入し、お宝カードを地図上に表示する。

#### ○お宝発表

各チーム30のお宝のうち2-3のお宝を選び発表する。その際にはタイトル・お宝マップ、キーワードがはいつていることが望ましい。あと3回で関係者分析(長短所)・問題分析・目的分析を経て、実施案を作るところまで説明したい。

**\*\* 園芸相談コーナー \*\***  
 10:00~12:00 13:00~16:00  
 火曜日を除く毎日

TEL 078 (918) 2405  
 FAX 078 (919) 5186  
 MAIL info\_midori@hyogopark.com

写真や実物をご持参いただきますと、お話ししやすくなります。

## バラのお話〈春夏〉

緑の相談員 花元 仁



### 【バラの病害虫】

こんにちは バラを育てる皆さん、綺麗なバラが咲きましたか。5月の相談では、うどんこ病の相談を多く聞きました。カリグリーンを1回/週、散布することをお勧めしています。同時期頃からベーサルシュート、サイドシュートも伸び始めますので病気が移らないように気を付けてください。

明石公園のバラ園では、冬の管理作業で冬期剪定 + 施肥 + 石灰硫黄合剤を刷毛で塗られて頑張ってこられたバラ園のボランティアの方々やバラの管理者の苦勞が報われ、見学に来られた皆さんも写真を撮られたりして喜んでくださいました。しかし残念な

がら、少しずつ病害虫の餌食になっていきます。

バラの病害虫対策の基本は、オルトラン粒剤を表土に撒くことで吸水性害虫の防除をし、病気は保護剤の散布を7日~10日/1回のペースで散布する事が基本作業になります。

基本作業以外に病害虫に襲われた時は、殺菌殺虫剤共に、普通物から強い薬剤へと使用する事をお勧めします。

### 【参考】

ここでカイガラムシの除去を紹介します。コーヒー(カフェイン)が良く効きます。インスタントコーヒーでいいので、冷めてからカイガラムシ全体にぶっかけてください。(ブラックで)



コーヒーをかけて1週間

歯ブラシで虫を取った後

## 緑のパトロールニュース[丹波編]

### 丹波に海はないが、波はある。

丹波は、セツブンソウやカタクリの花の開花とともに始まり、加古川沿いに数キロに繋がる桜並木が色づく頃春本番です。今年、特に柏原駅周辺の薔薇が綺麗で、たんばオープンガーデンの各庭でも優美を競っていました。

緑のパトロール隊もノジグクの苗、花のある道づくり事業の苗配りや緑化資材の配布など花々と共に活動開始します。

少子化が進み、閉校となった小学校や保育園・幼稚園をもう一度、子供たちの声がする集える場所に蘇らせたいとの思いがありました。地域の皆さんには、県民まちなみ緑化事業をまちづくりの一助となるように活用していただいています。旧神楽小学校では校庭を芝生化して、数カ所にテントが常設されました。周辺には木々を植樹し、一本の高木にツリーハウスが設置されました。これらで、休日には子供たちの声が響いています。

丹波篠山市でも、閉園の保育園の園庭が芝生化された後、市の事業で遊具が設置され、親子の集いの場になっています。

丹波市小山自治会では、竹藪沿いの道が「ゴミ捨て禁止」の看板が立ち、背の高い雑草で覆われていた場所がありました。地域の皆さんとの話し合いで、県民まちなみ緑化事業を活用し、竹を土留めに利用した紫陽花園(右写真)に生まれ変わりました。皆さんの紫陽花剪定の講習会や花見の場所になりました。こうした小さな活動が、少しでも浸透して大きな波になればと思っています。



丹波緑のパトロール隊員 木村圭介

## 花緑団体紹介

### 野瀬フローラズクラブ

活動23年目



4月30日(土)翌5月1日(日)、3年ぶりのオープンガーデン「田舎家「野瀬の里」オープンガーデン&音楽会」。

宿根草のボーダー花壇、ラベンダー、ミント等ハーブ花壇のほか野瀬フローラズクラブの有志やご近所さんの寄せ植えコンテナも並びました。

新緑まぶしい陽差しの中、爽やかな音色・歌声が野瀬の里に流れました。

オカリナ、ウクレレ、ゴスペル、沖縄手話

唄、三線の5組のアーティストの個性が舞台上から心地よいシャワーとなって、どの顔にも笑顔と感動がありました。

可愛い多肉植物の寄せ植え、野瀬の朝市の新鮮野菜・切り花の即売会もあり、を巡る交流ができた2日間となりました。

また、6月29日(水) フラワーセンター非常勤講師の門上幸子氏の指揮で、地先の休耕地をワークショップを実施しました。午前中に植栽デザインと植物の特徴の講習を、午後に植栽の実践。

相生湾から山間部に緑の広がる中で、アウトラインをデザインしたひときわ目をひきつける花壇が出来ました。



## 園芸教室

★★お申し込み・お問い合わせ★★  
花と緑のまちづくりセンター TEL078-918-2405  
受付時間 9時~17時迄 申込開始日より先着順 ※電話のみの受付

令和4年度 令和4年8月~10月

実施日	タイトル	講師名	受講料【円】	受付開始日
8/7日 午後	◆ 小枝アート ~森の仲間たち~	草木遊び塾 主宰 松井 鴻	700	7/15
8/11 木 午後	◆ かな肩で作るアートリース	フラワーサークル花里主宰 東田 里美	2,100	7/15
8/21 日 午後	ガーデンデザイン ② 中山正範の庭と室内のガーデンレッスン	ガーデンデザイン研究家 中山 正範	100	8/ 1
8/26 金 午後	バラと花壇 ① ~夏の剪定と花壇~	花と緑のまちづくりセンター 花と緑の相談員 花元 仁	100	8/ 1
9/ 4 日 午前	◆ 明石公園の自然観察 ④	明石公園の自然に親しむ会 代表 兼光 たか子	100	8/15
9/11 日 午後	◆ ハーブでつくる石鹸と入浴剤	ジャパンハーブソサイエティ 上級インストラクター 松尾 あや子	2,100	8/15
10/2 日 午後	◆ 薬になる木・草を学ぶ<秋>	(一社)明石市薬剤師会 高橋 宏和	600	9/15
10/9 日 午後	◆ どんぐりで森の仲間をつくらう ~キャラクターでオブジェづくり~	園芸研究家 山本 建也	800	9/15

開催場所：明石公園内剛ノ池南 花と緑のまちづくりセンター 研修室

## 花緑博士へチャレンジ !!

◆印は小学生以上が対象です。対象の教室を5回以上参加した小中学生には、花緑博士の認定証を進呈します。



ボランティアさんの花手水作品などをInstagramからも配信しています。是非ご覧ください！



## 花と緑のまちづくりセンターだより 61号

●令和4年7月11日(年4回発行)

●編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 福田 稔

〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター

TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール:info\_midori@hyogopark.com